

第5回働くトラックファミリーフェスタ・Gマークラッピングトラック感謝状授与式を開催

岡山県トラック協会

来場者 8,000名



10月18日(土)午前10時より岡山市サウスヴィレッジ(岡山市南区片岡)で『働くトラックファミリーフェスタ』『「トラックの日」小学生絵画コンクール表彰式』『Gマークラッピングトラック感謝状授与式』を開催しました。

「トラックの日」関連事業の一つとして、小学生や家族の皆さんに、暮らしと経済を支えるトラックについて、楽しみながら学び一層の親しみをもっていただくとともに、交通安全や環境保全等の取り組みについて知っていただくため4年前から開催していますが、年々来場者が増加、今年は場所を岡山市サウスヴィレッジに移し、行いました。

会場には、キャリアカーや大型レッカー車、バルクトレーラー、ファミリーサルーン車(引越専用車)、冷凍冷蔵車、高所作業車、Gマークラッピングトラック、白バイやパトカーなど19台を展示し、来場者に運転席に座ってもらい実際の大き

きさや高さを体験してもらいました。

また、展示トラックの写生会には小学生以下108名が参加し、真剣な表情で画用紙にトラックを描いていました。



「冷蔵冷凍車の中は寒いのかなー」



「アイスキャンディーみたいに凍っちゃうよー」



「高くて怖いけど遠くがよく見えるよー」



「白バイはカッコいいなー」



「ミニ電車ただ今から出発します」



「何でも持ち上げるぞー」



「未来の引越マンだぞー」



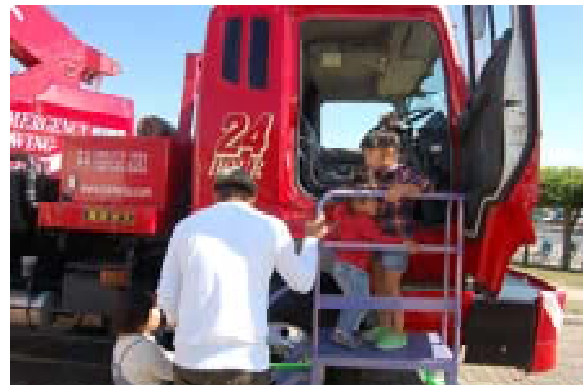
「ラフテレーンクレーンは高いなー」



「バルクトレーラーは大きいなー」



「ダンプカーは力持ち」



「ウワー真っ赤なレッカー車だ」



「どのトラックを書こうかなー」



「繁盛するB級グルメコーナー風景」

当日は朝から晴天で気温もグングンと上がり会場内では、青年協議会会員が販売するジュース、バクダンキャンディーが人気でした。また、昼時にはB級グルメコーナー(日生カキオコ、やきそば、ラーメン等)には行列ができるほどでした。

来場者は、普段あまり見ることのできない展示車両に乗り込み係員に操作方法やどんな荷物を積むのか熱心に質問をされていました。

また、青年協議会(風秀樹会長)の会員11名がジュース、バクダンキャンディーの販売及び小学生を対象とした子ども免許証を作成するなど大好評でした。



子ども免許証を作成中の青年協議会会員



青年協議会会員

Gマークラッピングトラック感謝状授与式を開催

「トラックの日」小学生絵画コンクール表彰式に引き続き、13時30分よりGマークラッピングトラック感謝状授与式を行いました。

Gマークは、安全で確実な輸送を行っているとして、全日本トラック協会が厳しい審査をした上で認定した「安全性優良事業所」に交付しているマークです。

全日本トラック協会では、このGマークを広く一般の方に知っていただくため昨年からはGマークをラッピングして全国を走っていただく会社を募集して広報活動を行っており、岡山県では、藤森運輸株式会社(代表取締役 藤森元則氏:倉敷市児島田の口7-6-19)にご協力をいただきました。

4トンウィング車のボディ両面に大きくGマークをラッピングしたトラックを昨年8月21日から県内各地で走らせ、広報活動にあたっていただきました。

今回、この活動に対し、全日本トラック協会会長から、感謝状が授与されることになりました。

感謝状は、全日本トラック協会副会長の新見会長から藤森社長に授与されました。



新見会長から感謝状の授与を受ける藤森社長



Gマークラッピングトラックをバックに記念撮影をする藤森社長他社員の方々